

2-3 平面計画

2-3-2 各フロアのレイアウト

1 F: 窓口(各種手続・証明) 戸籍などの手続きや各種証明、障がい者や高齢者などの窓口、金融機関

多くの市民が利用する手続の窓口を集約配置し、ワンストップサービスを実現するとともに、障がい者や高齢者の方々に配慮した窓口のフロア

■低層部(1~3階)の平面計画

1. 市民にわかりやすい窓口

市民が多く訪れる窓口を1~3階の低層部に集約配置します。

窓口は、庁舎の中央から見渡せる配置とします。

また、車で来庁者が、駐車場からまっすぐ窓口に向かう動線とします。

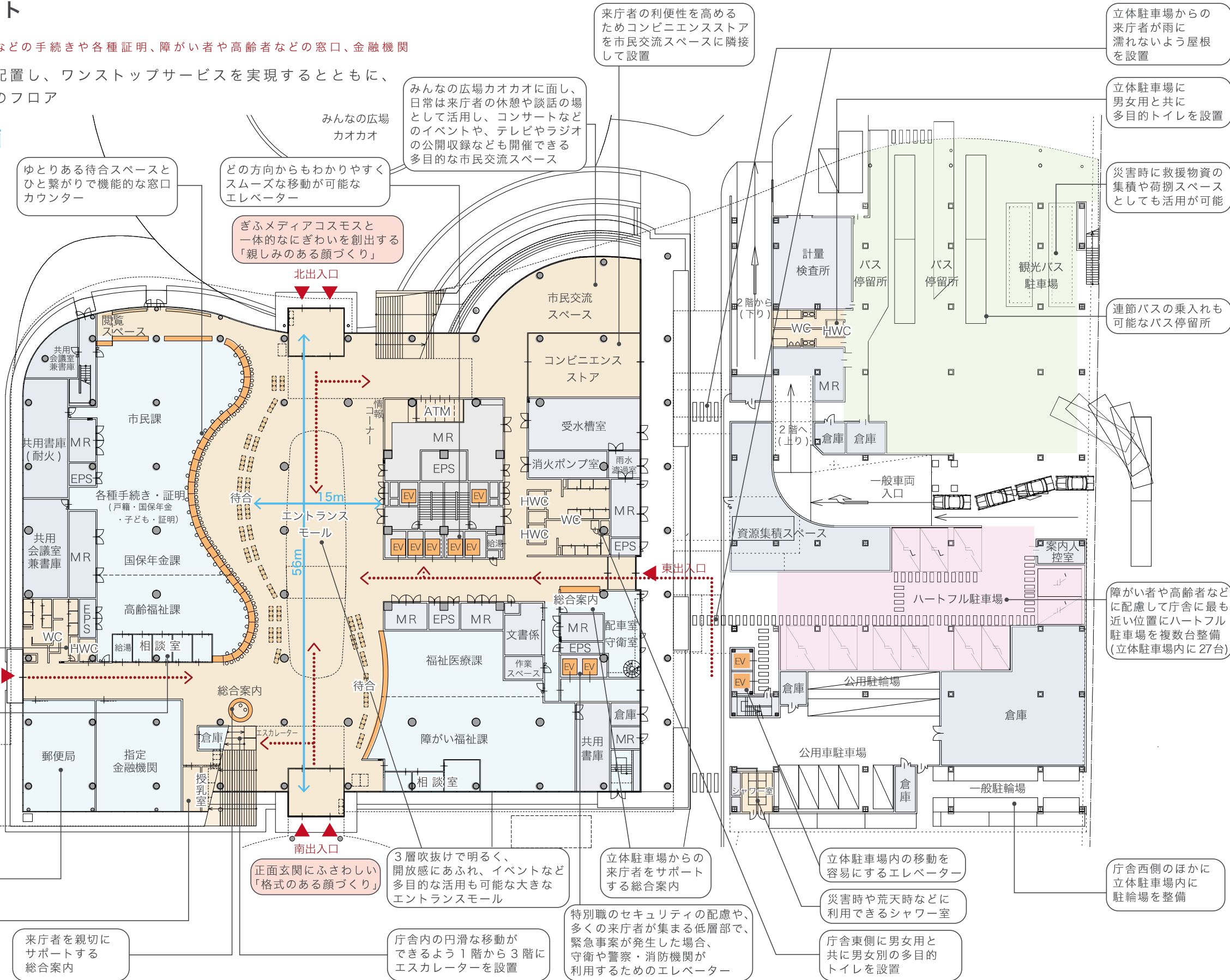
2. 市民に開かれた多様なスペース

1階には、市民が自由に往来できる大きなエントランスモールや市民交流スペースを設けます。

2階には、市民広場に向けてレストランやテラスを設置し、市民の憩いの場とします。

3. 市民の誰もが使いやすい新庁舎

バリアフリーやユニバーサルデザインを採用し、障がい者や高齢者、子ども連れ、外国人の方々など様々な来庁者に使いやすく、わかりやすい庁舎とします。



庁舎西側に男女用と共用多目的トイレを設置

プライバシーに配慮し、安心して相談ができる個室相談室(低層部で計33ヶ所)

指定金融機関に加え、市民から設置を望む声が多かった郵便局を配置

子ども連れの方が利用しやすいよう授乳室を各フロアに設置(低層部で計6カ所)

来庁者を親切にサポートする総合案内

正面玄関にふさわしい「格式のある顔づくり」

庁舎内の円滑な移動ができるよう1階から3階にエスカレーターを設置

3層吹抜けで明るく、開放感にあふれ、イベントなど多目的な活用も可能な大きなエントランスモール

特別職のセキュリティの配慮や、多くの来庁者が集まる低層部で、緊急事態が発生した場合、守衛や警察・消防機関が利用するためのエレベーター

立体駐車場からの来庁者をサポートする総合案内

立体駐車場の移動を容易にするエレベーター

災害時や荒天時などに利用できるシャワー室

庁舎東側に男女用と共用多目的トイレを設置

庁舎西側のほかに立体駐車場内に駐輪場を整備

※MR: 機械室、EPS: 電気機械室、EV: エレベーター、HWC: 多目的トイレ

◀ 来庁者出入口 ◀◀◀ 来庁者動線

